

生物多様性 いちかわ戦略

人と生きものが自然の中でつながる
文化のまち



国府台の辻切りは
古来の伝統文化!



春になると、大町では
ナシの花ざかり!



生物多様性を
こどもたちの未来へつなげよう!!



カワセミは
みんなの人気者!



南部の湿地には
カニがいっぱい!

市川市

秋の虫の一つ。
鳴き声を楽しんでね!



市民の昆虫
スズムシ
昭和51年
10月21日決定

ホーホケキョッ
春にさえずるよ!



市民の鳥
ウグイス
昭和51年
10月21日決定



生きものと人とのつながりを考えてみましょう!!

～市川市民が選んだ生きものたち～

JR線から
眺めてください!!



市の木
クロマツ
昭和45年
12月3日指定

里見公園や大町公園
で咲いているよ!



市民の花
バラ
昭和50年
7月21日決定



「ガーデニング・シティ いちかわ」
オリジナルキャラクター
クロロとバララ

生物多様性いちかわ戦略
～人と生きものが自然の中でつながる文化のまち～

発行年月:平成26年3月
編集・発行:市川市 環境清掃部 環境政策課
〒272-8501 千葉県市川市八幡1-1-1
Tel : 047-334-1111(代表)

地 地球上に生きものが初めて誕生したのは、
今から40億年も

前のことだといわれています。

この長い歴史の中で、生きものたちは
いろいろな自然環境で様々な進化を遂げました。

しかし現在、生きものの暮らしに

変化が見られます…



絶滅危惧種のキキョウ。
市川市の自然環境では見られなくなった。

生物多様性とは？

〘生物多様性、とは「生きものたちの豊かな個性とつながりのこと」であるといわれています。
また、その多様性には生態系・種・遺伝子の三つのレベルがあるとされています。

1 様々な自然環境と生きものたち 〈生態系の多様性〉

生きものたちは海や山、川や森など様々な自然環境で暮らしています。生きものたちはそれぞれの環境の中で、地域ごとに異なった生態系を作り出しています。このことを『生態系の多様性』といいます。

2 たくさんの種類の生きものたち 〈種の多様性〉

地球上には生きものが約3,000万種類もいるといわれています。生命が地球上に誕生して以来、生きものたちはそれぞれ独自の進化を遂げ、哺乳類や鳥類、爬虫類など現在の姿へと変わっていきました。このことを『種の多様性』といいます。

3 同じ生きものでも特徴は様々 〈遺伝子の多様性〉

生きものたちは進化していく過程の中で、暮らしている環境への適応や種の分化を経験してきました。その過程で生まれた多様な遺伝子を残していくことは、生きものの絶滅を回避するためには欠かせません。このように様々な遺伝子が存在することを『遺伝子の多様性』といいます。



泥干潟のトビハゼ(江戸川放水路)



ホタルの発光間隔は生息域によって異なる。

市川市の恵まれた自然環境

市川市は南北に広がり、たくさんの自然環境に恵まれています。
ここでは市川市を四つに分けて、それぞれの特徴を見てみましょう。
環境が異なるだけで、住んでいる生きものも変わっていきます…

北西部エリア

江戸川に沿って斜面林が続く緑豊かなエリア。里見公園や国府台緑地、じゅん菜池緑地など、様々な緑地や水辺が守られています。



じゅん菜池には、
毎年たくさんのカモが
やって来る！

中部エリア

住宅街が大半を占める中で悠然とそびえ立つクロマツは、昔から市川市民に愛されてきました。総武線の北側にある市川砂州は、数千年前にはここが海岸線だったことを私たちに教えてくれます。



市川といえばこの景色

北東部エリア

梨園に降り注いだ雨水が、自然観察園から湧き水として流れ出し、周辺の自然を潤します。また、サワガニやホタルなどの珍しい生きものが見られます。



自然観察園は
市川市で唯一
ホタルが見られる場所。

南部エリア

海水域の江戸川放水路では泥干潟が広がり、子ども達が海の生きものとふれ合っています。また、三番瀬は親しみやすい海辺にするために整備中です。



潮干狩りをする子どもたち

生物多様性は命のみなもと

全ての生きものはお互いに`つながり、を持って生きています。

それはわたしたち人間も同じです。

わたしたちの日々の暮らしを豊かにしてくれるのは、`自然や生きものとのつながり、なのです。

このような生きものたちの恵みを、わたしたちは『生態系サービス』と呼んでいます。



市川市の生物多様性の現状

様々な自然環境に恵まれていた市川市ですが、都市化が進んだことで人々にとって身近な自然が失われつつあります。また、人と自然のつながりも薄れつつあります。

1 自然と自然のつながり

市街化が進み、残された自然環境どうしのつながりが薄れつつあります。生きものが行き交う生息環境の魅力がなくなり始めているのです。

2 地域に根差した文化

自然とのかかわりの中で育まれてきた地域の文化が変化し、人々の環境への理解や関心が薄れてきています。

3 人と人のつながり

かつて里山の管理作業などを通して築かれてきた人と人のつながりが薄れ、自然に関心がある人どうしの結びつきが失われつつあります。

4 人と自然のつながりの変化

市民生活や事業活動から生じる環境への影響は、地球温暖化など国際的な問題にもつながっています。市民・事業者・行政などの様々な主体が、地域から取り組みを進めていくことが必要です。



<行徳鳥獣保護区>
鳥たちにとって住みやすい環境が残されています。

市川市の取り組み

市川市内の自然環境を保全し、生物多様性を未来の世代に伝えるために、

市川市は『生物多様性いちかわ戦略』を策定しました。

市川市はこの戦略の目標年次を2050年と定め、

4つの基本戦略と12の行動計画で戦略を推進していきます。

1 生物多様性の保全と再生 (自然と自然をつなげる)

- (1) 地域の核となる自然環境(緑地・樹林地・水辺環境・農地等)を保全していきます。
- (2) 身近な自然環境(都市公園・市街地の緑地・河川・校庭等)の保全再生を図ります。
- (3) 地域本来の生物を保護し、外来生物(アライグマ・ブラックバス・ブルーギル等)による生態系への影響の軽減を図ります。
- (4) 民有地(住宅地・大型店舗・工場敷地・都市農地等)の緑を増やし、保全します。

2 豊かな文化と景観の保全・創出 (文化と文化をつなげる)

- (1) 地域の伝統ある行事(国府台の辻切り等)を継承していきます。
- (2) 文化的資産や社寺林のある景観を守ります。

3 様々な人や組織との協働 (人と人をつなげる)

- (1) 市民と事業者と行政の協働により、自然環境の保全をおこなっていきます。
- (2) 市民ボランティア活動に参加する市民や事業者の育成をおこなっていきます。
- (3) 生物多様性に関する知識と理解を広めていきます。(市民環境講座・生物調査等)

4 生物多様性の持続可能な利用 (人と自然と文化をつなげる)

- (1) 生物多様性に配慮した都市開発や事業活動、消費活動をおこなっていきます。
- (2) 地球温暖化対策(温室効果ガスの削減・太陽光発電の普及等)に取り組みます。
- (3) 子供たちが自然や文化と触れ合える機会を増やします。

長期目標 2050年にむけて (短期目標:2020年、中期目標:2025年)

2050年には市川市が「自然と自然」、「文化と文化」、「人と人」、「人と自然と文化」のつながりを持つまちになることを目指して、戦略を進めていきます。また、2050年までを短期、中期、長期の三段階に分け、それぞれの段階で評価・見直しをしていきます。

もっとくわしく知りたい方は、「生物多様性いちかわ戦略」を読んでみてください。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/env01/1111000127.html>

市川市の将来像

市川市は2050年を目標年次として生物多様性いちかわ戦略を策定しました。
2050年の市川市はどうなっていると思いますか？
四つのエリア毎に、未来の市川市を思い浮かべてみましょう!!

北西部エリア

江戸川や真間川を中心に、たくさんの緑がつながっています。ボランティアの人たちが一生懸命自然を守っています。子どもたちがその周りで遊んでいます。



北東部エリア

自然観察園や大柏川を中心に生きものがにぎわっています。その周りでは、子どもたちや市民が、自然とのふれ合いを楽しんでいます。



中部エリア

住宅街のクロマツは、今と変わらず市民が大切にしています。また、江戸川や真間川に沿ってたくさんの生きものがつながっています。



南部エリア

江戸川河川敷や行徳近郊緑地が生きものであふれています。江戸川放水路や海岸線の干潟では、市民や子ども達が海の生きものと親んでいます。また、たくさんの人が水鳥を見にやって来ます。



みなさんではじめましょう!!

生きものが暮らしやすい自然を将来の世代に伝えるために、わたしたちは何ができるでしょうか。一緒に考えてみましょう。

子どもたちに自然の大切さを伝えよう!!

市川市にはみなさんが楽しく過ごせる自然がたくさん残されています。休日には大人も子どもも外へ出て、生きものとふれ合いましょう。



梨狩りをする親子連れ

いろいろなイベントに参加しましょう!!

市川市では環境に関する市民向けイベントが多数開催されています。イベントに参加して、今まで気がつかなかった自然を発見してみましょう。また、環境に関心のある人との「つながり」を大切にしましょう。



市川市主催の市民環境講座
みんなで海の生きものを探しています!

生きものをむやみに放さないようにしましょう!!

ペットが大きくなってもう飼えない...別の場所で捕まえた生きものを逃がしたい...でもちょっと待って。もともといなかったその動物を逃がしたら、他の生きものはどうなってしまうのでしょうか?



ブルーギルを別の場所で放すと、その場所の生態系に大きな被害が...

市民・民間団体・事業者に共通してできることは???

地域の人たちや市と協力しながら、自然を保全する活動(緑地の維持・管理など)を行うことで、生物多様性を保全するとともに、地域社会への貢献ができます。また、環境に配慮した製品を販売・購入したり、敷地に緑を増やしていくことが、人や生きものが豊かに暮らせる未来へとつながります。



ボランティアによる林の管理